

一人一人に応じた『勉強の仕方』をサポート、
学習困難生徒も積極的に受け入れ、

代表 岡本康志さん
サポート京田辺
おかもと やすし



岡本康志さん

平成22年度 採択事業

目指すはやる気のアップ!

平成22(2010)年に開校した学習塾 サポーツ京田辺。進学塾であることはもちろん、成績中位以下の学力不振生徒、学習意欲の低い生徒、普通学級に在籍しながら軽度の障害を持つ学習困難生徒も積極的に受け入れています。代表の岡本康志さんは、「確かな需要があるのに、そういう子はリスク大ということで受け入れてもらえないという状況を長い間見てきました。私はそういう縛りを取り払いたいと思ったのです」と話します。

岡本さんは11年間、大手の進学塾に勤務し、個別指導教室長、家庭教師事業部管理職を歴任。個別指導教室長時代には、勤務地において新規開校から4年で生徒数地域No.1にするなどの実績を残しました。そのような中、学習について「困っている、助けてほしい」と言う声が多いことに気づき、自分の経験を生かし、応えていきたいと考えるように。「集団、個別指導、1対1の家庭教師とさまざまな形態を経験し、大きく伸びる子、逆に学習意欲がダウンする子に出会ってきました。伸びる子に共通しているのは“やる気”があること。やる気があれば勉強も楽しく成績が上がります。勉強以外にも、したいことが見つかったり、それにチャレンジする気持ちを養え、プラスになることが非常に多いんです。私は、“やる気”、それも1人1人の能力、レベルに応じて“やる気”を引き出すことで成績アップや将来へのステップアップにつながる指導を目指しています」。



個々のパーソナリティに向き合う指導

大学と連携し、やる気を指標化

塾の理念は、「勉強を教えるのではなく勉強の仕方をお教えします」。知識を詰め込むのではなく、個々の自立を促す“見守り”を大切にすることがモットーです。

ファンドへは開校にあたって応募しました。やる気を引き出す指導というのはあいまいな評価しか得られないと考え、なんとか客観的評価を示すことはできないだろうか、同志社大学・こころの生涯発達研究センターの田中あ

人・まち・社会を元気に

地域密着

ゆみ准教授を訪ねたそうです。「やる気を指標化できるかどうかを尋ねたところ、「できます」とのお返事をいただき、それなら、ちゃんと予算をつけて田中准教授にアドバイザーとなってもらおうと考えました」。今では生徒や保護者アンケートから、全体としていかにやる気が上がり、また停滞しているかなどを准教授に解析してもらい、アドバイスももらって、指導や定期的な懇談の場に生かしています。また、学生が塾で実習を行ったり、岡本さんが大学の教壇に立つことも。目指すべき指導のため、また後進を育てるために、大学側との情報交換と交流を積み重ねています。

さらに岡本さんはファンドを活用し、著書『なぜ個別指導で成績が上がらないのか～学力不振生徒の現場から～』を自費出版。自身の経験、考えを認知してもらうことと、生徒への指導に悩む指導者に向けてアドバイスとなれば、という思いからでした。



授業の一環としてのロボットクラブ

何より大切なのは“共感と理解”

現在、約50人の生徒が在籍。2対1の個別指導ですが、2人同時に教えることをしないので、違う科目、違う学年の生徒がペアになることもあります。また全科目を対象としながら塾側から科目の指定をしないのが特徴。パーソナリティの特性や学習志向により、科目を生徒側が選択します。塾生の中には、発達障害の認定をされた子、いわゆるグレーゾーンの子から、たとえば通知簿がオール4であっても整理が苦手だったり、不注意が多かったり、記憶力が長けていても思考力が低い子などがあるそう。「それを理解し共感することが何より大切」と岡本さん。「そういう子は「やる気がない」と言われがちなんです。そのことによって、意欲が低下し学力向上を諦めているケースが多いのです。ですから、『それができないなら、こうしてみようか』『そこは気をつけたいね』と導くことが大事です」。時には科目を教えず会話を重ねることによって、子ど

もの目が輝き、「家でいっぱい勉強してくるね」というケースもあるとか。「成績はいいほうがいいなって、本人に勉強することをチョイスさせる機会を提供すること。意欲のある子には、必ず何らかの対応はできるものですから」。

塾生を対象としたロボットクラブでは、プログラミングなど工学の基礎を学び問題解決能力を養うことを目的としています。



講師陣も『やる気』いっぱい

既存のサービスでは出来ないこと

これらのような教え方の観念を、大学生アルバイトなど講師に理解させるためにも、田中准教授とのタイアップは役立っているといいます。さらにコーチング研修や、コミュニケーション能力をアップさせるための資格「情報デザイン検定」取得などを通して、岡本さんの考えをしっかりと伝える体制を整えています。難しいのは、塾の顧客は子であり親であること。「子・親・講師の意思疎通のためにももっとオープンな経営を行い、スタッフ育成もシステム化するなどして、世間に理解してもらう必要があります。また既存のサービスでは出来ないことを広く展開するため、将来はNPO法人のような形も考えていきたいですね」。

学習を諦めることが人生を諦めることにつながってしまわないように一岡本さんの使命感が伝わってきました。

事業概要

サポーツ京田辺
http://www4.ocn.ne.jp/~supports/
代表：岡本康志
業種：学習塾
創業：平成22(2010)年
住所：〒610-0361
京田辺市河原御影 30-8 京田辺デパート2階
TEL：0774-65-1316 FAX：0774-65-1316